

記者発表資料
 令和3年10月24日
 疾病・感染症対策課感染症対策班
 担当：高橋
 電話：022-211-2632

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者の発生等について

1 新規患者の概要

本日、新規患者の公表はありません。

2 療養者数等の状況（本日13時時点）

計 (うち仙台市)		療養中										療養終了	死亡	
		入院						宿泊療養	自宅療養	入院・療養先				当日分
		うち感染症指定 医療機関	うち入院協力 医療機関	その他 医療機関	準備中	調整中								
患者	県	6,177人	4人	1人	1人	0人	0人	3人	0人	0人	0人	6,121人	52人	
	仙台市	10,078人	5人	2人	1人	1人	0人	2人	1人	0人	0人	10,007人	66人	
	合計	16,255人	9人	3人	2人	1人	0人	5人	1人	0人	0人	16,128人	118人	
その他	県	7人	欠番（744例目, 1196(市800)例目, 4298例目, 4688(市3050)例目, 5163(市3377)例目, 5605(市3677)例目, 6373(市4144)例目, 6504(市4240)例目, 7640(市4903)例目, 8991(市5651)例目, 9028(市5678)例目, 9929例目, 12016(市7427)例目, 12963例目, 13354例目, 14103例目, 15577例目, 16260(市10079)例目)											
	仙台市	11人												
	合計	18人												
総数	県	6,184人												
	仙台市	10,089人												
	合計	16,273人												

※「死亡」は死亡後に新型コロナウイルスが検出された者も含まれます。

3 病床の使用状況（本日13時時点）

(1) 確保病床の状況

〈全県〉

	確保病床	
	全入院者	うち重症者
確保病床数	498床	54床
入院者数 (使用病床数)	3人	1人
使用率	0.6%	1.9%

〈仙台医療圏〉

	確保病床	
	全入院者	うち重症者
確保病床数	317床	39床
入院者数 (使用病床数)	3人	1人
使用率	0.9%	2.6%

※確保病床・・・各医療機関から報告のあった現時点で確保している病床

※入院者数（使用病床数）は、その他医療機関に入院されている方を含みません。

※本日の病床数：498床（感染症指定医療機関：244床，入院協力医療機関：254床）

(2) 受入可能病床の状況

〈全県〉

	受入可能病床	
	全入院者	うち重症者
受入可能病床数	154床	17床
入院者数 (使用病床数)	3人	1人
使用率	1.9%	5.9%

〈仙台医療圏〉

	受入可能病床	
	全入院者	うち重症者
受入可能病床数	65床	10床
入院者数 (使用病床数)	3人	1人
使用率	4.6%	10.0%

※受入可能病床・・・対応人員や入退院の状況により実際に各医療機関が当日に受入可能な病床

※入院者数（使用病床数）は、その他医療機関に入院されている方を含みません。

4 変異株の確認状況（本日13時時点）

L452Rの変異がある変異株の確認状況（県分）

(A) 陽性患者数 (5/29～10/23判明分)	(B) スクリーニング件数 (B/A)	(N) 判定不能	(C) L452R陽性 (C/(B-N))
2,878件	1,427件 (49.6%) ※本日追加 0件	64件 ※本日追加 0件	1,244件 (91.3%) ※本日追加 0件

このほか、陽性判明日が5月28日以前の検体3件を検査しておりますが、L452R変異株は確認されていません。

県民へ感染対策の強化の呼びかけ

東北医科薬科大学医学部 賀来満夫特任教授など
宮城県感染症アドバイザリーボードの専門家のご意見をもとに作成

- 宮城県内では、**変異株L452R（デルタ株と疑われる変異株）の感染が拡大**し、ほぼ従来株から置き換わっている
- 変異株L452Rは非常に感染力が強く、**従来の感染対策では不十分**

※10/11～10/17の陽性患者のうち、検査を行った1件の100.0%の1件がL452R



感染対策として気をつけるべきポイント5点

- ① 会話の際には**1.9メートルの距離**をとり、会話の**時間は短く**する

※従来は1～1.5メートル。相手との距離を十分にとる



- ② 必ず**不織布のサージカルマスク**を着用する
※ウレタンや布のマスクは感染予防効果が低い



- ③ **こまめに換気**をする
※家庭用エアコンで換気はできない
冷暖房をしても定期的に換気をする
2箇所の窓を開け、扇風機で空気の流れをつくり、常時換気することが望ましい



- ④ 速やかに**ワクチンを接種**する
※高齢者のワクチン接種は概ね完了
次は若年者がワクチン接種を



ワクチン2回接種後も、感染予防対策は必要です!!
感染者のうち、約6%の*ブレイクスルー感染がわかっています。

*ブレイクスルー感染とは、ワクチン2回接種後、2週間以上経って発症（感染）している方を集計しています。

⑤感染者が増加しているときは、**普段会わない人（家族以外の人）と会うのは避ける**

※最近会っていなかった友人や知人、初めて会う人との接触はできるだけ減らす

休日のそうした行動で感染しているケースが多く、休日後の感染拡大につながっている

リモートでのコミュニケーションを積極的に取り入れる



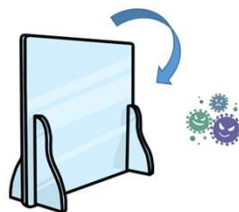
エアロゾル感染とは

エアロゾルとは、空気中の小粒子や飛沫が浮遊している状態のこと

- ・咳で約700個/回、くしゃみで約4万個/回発生
- ・気管挿管や喀痰吸引等の医療処置ではさらに多く発生

ウイルスが回り込んで来る可能性あり
アクリル板を過信しないで！

マスク着用と換気が重要!!



屋外でも感染します！

●感染リスク

屋外であっても、会話をしながらの飲食は感染リスクがあります。

●感染対策

会話の際は必ずマスクを着用し適切な距離をとって行いましょう！

